

平成 26 年 (2014 年) 4 月 8 日 <No-2>

長野県松本家畜保健衛生所
〒390-0851 松本市島内西川原 6931
TEL:0263-47-3223 FAX:0263-47-0101
E-mail:matsukachiku@pref.nagano.lg.jp
中信家畜畜産物衛生指導協会
TEL:0263-47-6789

かほだより

牛白血病のまん延防止及び牛ウイルス性下痢・粘膜病の清浄化に地域一丸で取り組みましょう

昨年は県内で牛白血病及び牛ウイルス性下痢・粘膜病による大きな被害がありました。本年度、松本家畜保健衛生所では、この2疾病の防疫対策に重点的に取り組みます。特に牛白血病に関しては、本年度より放牧前の検査体制を整備しますので、放牧前に検査を受け、陰性を確認するようにしてください。

1、牛白血病について

牛白血病は牛白血病ウイルス（以下「BLV」という。）が関与する地方病性（成牛型）牛白血病と、ウイルスの関与が不明な散発型牛白血病があります。

BLV が関与する地方病性（成牛型）牛白血病は、発症すると全身リンパ節の腫大、全身臓器での腫瘍形成、削瘦、乳量減少、眼球の突出等の症状を示し、死の転帰をとります。

地方病性牛白血病の診断：血液中の BLV に対する抗体の有無を調べます。万一抗体が陽性の場合、感染牛の隔離、搾乳を最後にする、などのまん延防止対策が必要となります。

☆家畜生産農場清浄化支援対策事業をご活用ください

公共牧場へ入牧を予定している牛及び発生農場等における牛の検査料については、一般社団法人長野県畜産会（窓口：中信家畜畜産物衛生指導協会）から検査料に対する補助（1/2 以内）があります。補助の詳細は中信家畜畜産物衛生指導協会または家保へお問い合わせ下さい。

なお、入牧時の牛白血病検査の取り扱いについては各牧場におたずねください。

2、牛ウイルス性下痢・粘膜病（以下「BVD-MD」という。）について

BVD ウイルスに感染すると、発育不良、下痢、呼吸器症状を呈するほか、妊娠牛が感染すると奇形、流産、不受胎等の繁殖障害を引き起こす場合があります。

特に、妊娠 100 日前後の母牛が感染すると、胎仔は生まれても虚弱であることが多く、成長してもウイルスを排出し続ける感染源（PI 牛・持続感染牛）となります。

BVD-MD の検査：BVD ウイルスは乳中に排出されるため、PI 牛の摘発には、バルク乳の遺伝子検査が効率的です。

☆平成 26 年度新規事業の酪農生産性向上対策事業をご活用ください

長野県では、生産者団体と協力して県内全ての酪農家のバルク乳における BVD ウイルス及び細菌検査を実施します。

管内全ての酪農家の参加をお願いします（検査料 2,320 円/バルク乳）。

詳細は家保へお問い合わせ下さい。

BLV の検査は、ヨーネ病の検査のために採材する血液で実施できます。

今年、家畜伝染病予防法第 5 条によりヨーネ病検査を受検される方は、この機会に是非 BLV も併せて検査を実施するようにお願いします（検査申し込み及び検査料は別途となりますので家保にご相談ください）。

問い合わせ先：防疫課 宮澤、佐藤（担当）
環境指導課 塩入、袴田（担当）



しあわせ信州